

Cloud Edge™ あんしんプラス

インターネットの出入口対策で中小企業のセキュリティを強化

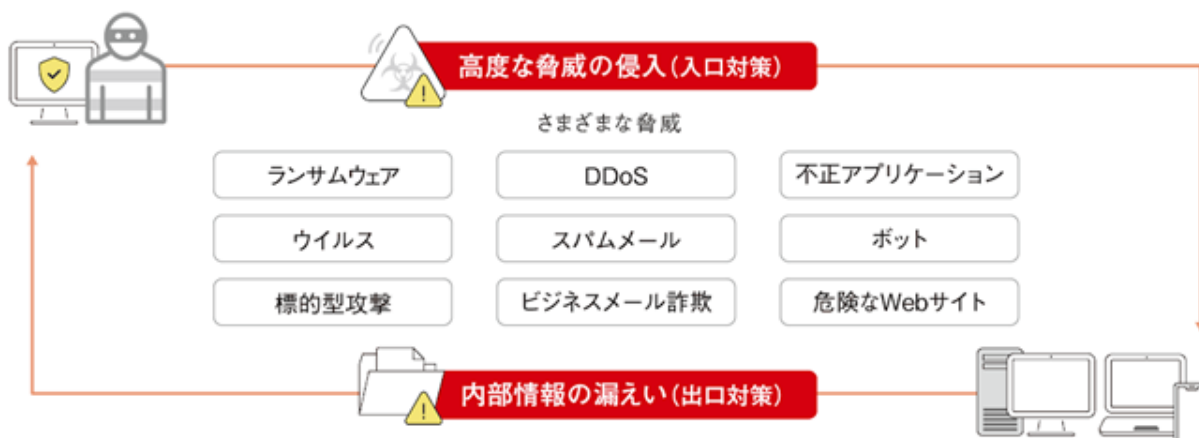
Cloud Edge [クラウドエッジ] は、
 企業ネットワークを守る、
 クラウド型総合ゲートウェイ
 セキュリティアプライアンスです。



お客様の
課題

- セキュリティ製品をただしく運用できる高度な知見をもつ人材の不足
- クラウド利用の拡大含む、インターネットの業務活用が当たり前になっているが、十分な対策がとれていない

中小企業が必要なメールやWeb経由の脅威対策ができる
 セキュリティ製品をサポートサービスも含めご提供致します。



クラウドを活用し高いパフォーマンスとセキュリティ機能を両立した機器の運用をプロに任せ
 自社で高度なセキュリティ知見を持つ人材を雇用することなく運用可能



詳しくは中面へ▷

Cloud Edge™ あんしんプラス

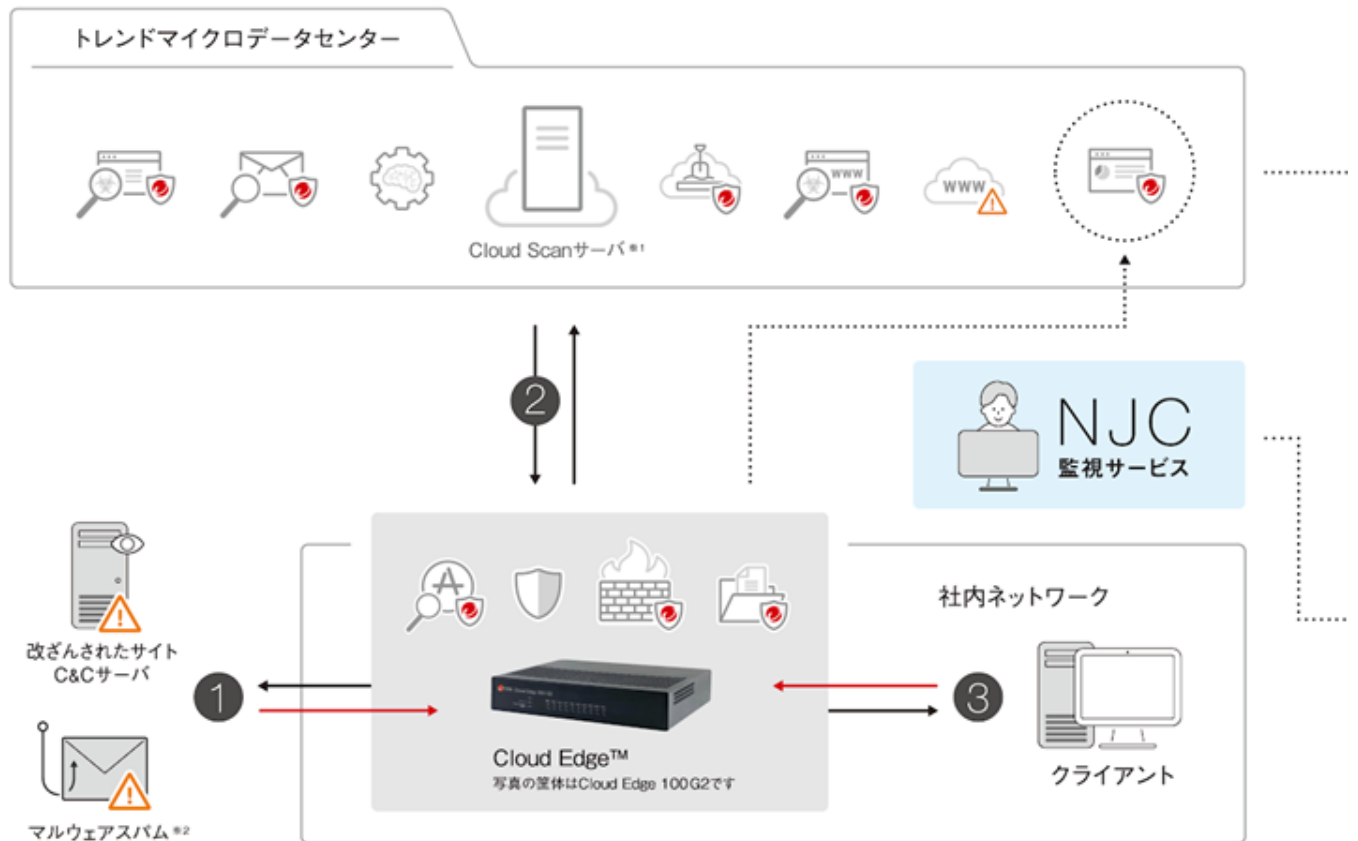
手間をかけずに高度なセキュリティ対策を実現

ファイアウォールによる一般的なアクセス制御だけでなく、トレンドマイクロがクラウド上から提供する技術基盤「Trend Micro Smart Protection Network™」を利用して、不正プログラム対策やURLフィルタからAI技術やサンドボックスを使った高度な脅威検出まで、幅広いセキュリティをご提供します。

セキュリティ機能専用 アプライアンスの高いパフォーマンス

| | |
|---|-------------|
|  ファイアウォールスループット | 最大 4.9 Gbps |
|  ファイアウォールスループット + ウイルス対策 | 最大 640 Mbps |

※ Persistent Connection ※ Cloud Edge 100 G2の場合



- 1 ファイアウォールやIPS機能、メールセキュリティ対策により社外からの脅威をブロック
- 2 クラウドスキャンサーバを使ってリアルタイムで軽快な検索処理を実現
- 3 C&Cサーバとの通信を遮断して遠隔操作による情報の流出を防ぐ

※ 1 Cloud Scanサーバは、クラウド型セキュリティサービスです。トレンドマイクロがWebアクセスセキュリティと機械学習やサンドボックスを用いたメールスキャンをクラウド上で提供し、Cloud Edgeの機能として利用します。
※ 2 マルウェアスパムとは、不正プログラムの拡散を目的としたスパムメール。

Cloud Edgeの特長

多機能なセキュリティをこの一台で実現

本製品とクラウドスキャンサーバと連携することで、メールやWeb、ネットワークなどさまざまな経路で侵入してくる脅威に対して素早く検査・防御することができます。

ハイパフォーマンスな処理性能

脅威に対する検索処理をアプライアンス本体とクラウドスキャンサーバで分散して行うことで、ネットワーク遅延を最小化しながらも高い防御性能をご提供します。

NJCによるあんしんサポート

導入設置や初期設定、また導入後の運用・監視はすべて信頼と実績のあるNJCにおいて対応しますので、いつでも安心してお使いいただけます。



クラウドコンソールで複数のCloud Edgeが管理できます。

NJC あんしんサポート内容

監視サービス

- ハードウェア死活監視
- C&Cサーバ接続検知アラート

ファームウェア リモートアップデート作業

03 月次レポート

04 ヘルプデスクサービス

ハードウェア保守 (先出しセンドバック保守)

- ハードウェア筐体が故障(ハードウェア死活監視で故障を検知)した場合、お客様からの故障品のご返却前に、代替品を先出ししてお客様に発送いたします。(故障品は代替品が到着次第、ご返却いたします。)

メールセキュリティ機能^{※1}

| 機能 | 詳細 |
|------------------|---|
| メールセキュリティ対策 | E-mailレピュテーションとオンプレミスのエンジンを利用して、不正プログラム付きメール、スパムメールをブロックします。 |
| 機械学習型検索 (添付ファイル) | メール攻撃で侵入する添付ファイルをAI技術を利用して、特徴を元に判断することで、従来の検出技術では検知できなかった未知のマルウェア ^{※2} にも迅速に対処することができます。 |
| クラウドサンドボックス | 不審なメールの添付ファイルを必要に応じてトレンドマイクロが管理するクラウド上のサンドボックスで実行し、ふるまいを解析できる動的解析機能を提供。標的型メール攻撃への対応をより高度に行うことが可能です。 |
| コンテンツセキュリティ | ヘッダ、本文、および添付ファイル名用のフィルタ文字列を設定する場合、キーワードと正規表現を任意に組み合わせたフィルタが行えます。また、マイナンバーフィルタとして社会保障・税番号制度の施行に必要なフィルタが行えます。 |
| E-mailレピュテーション | スパムメール対策としてE-mailレピュテーションを使用します。動的レピュテーションデータベースに加え、受信メールメッセージのIPアドレスを検証して新しいスパムメールおよびフィッシングの送信元を特定し阻止します。 |

※1 1万通/日以上のメールスキャンを実行することが予想される場合は、事前に弊社へご相談ください。
 ※2 すべての未知のマルウェアに対応するものではありません。

Webセキュリティ機能

| 機能 | 詳細 |
|----------------|--|
| 不正プログラム対策 | 本体側の検索とクラウドデータを利用した検索に分散して処理することで、高い検出率を維持しながらも、遅延を抑えて軽快な処理を実現します。 |
| アプリケーションコントロール | 日本独自のアプリケーションを含む1,000以上のアプリケーションをサポート。一部アプリケーションでは機能単位での制御も可能。 |
| 脆弱性対策 | 接続された端末に既知の脆弱性(攻撃に悪用されるソフトウェアの欠陥)がないか調べます。 |
| Webレピュテーション | クラウド上のURLデータベースをリアルタイムに参照して、危険なWebサイトへのアクセスを自動的に遮断します。 |
| URLフィルタリング | 約80種類のカテゴリとブラックリスト/ホワイトリストを設定することで、業務に不必要なWebサイトへのアクセスを規制します。 |

ネットワークセキュリティ機能

| 機能 | 詳細 |
|------------|---|
| 侵入防止 (IPS) | DPI ^{※3} (Deep Packet Inspection) エンジンと6,500を超えるルールによる脆弱性対策。 |
| ファイアウォール | 攻撃のみをブロックし、適切なアプリケーショントラフィックだけを通過。 |
| C&C通信制御 | サイバー攻撃において攻撃者が指令を送ってくるC&Cサーバへの通信を検知・遮断することで、攻撃の連鎖を断ち切り、実害を防ぎます。 |
| 帯域幅制御 | 各インタフェースの通信量の制御。 |
| LANバイパス | 障害による接続遮断時も自動的にバイパストラフィックを維持。 |

※3 DPI (Deep Packet Inspection) とはパケットフィルタリングの一種で、パケットが通過する際にデータ部を検査すること。

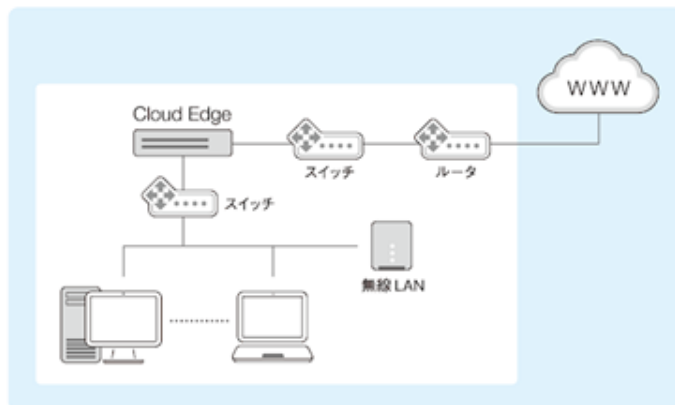
運用管理機能

| 機能 | 詳細 |
|-----------------|--|
| クラウドコンソール | Cloud Edge管理コンソールをクラウド上に配置しているため、いつでも動的にアクセスできます。地理的に離れた複数のCloud Edgeのユーザアクセスログやセキュリティポリシーを管理できます。 |
| ポリシー / プロファイル管理 | セキュリティ機能をユーザ/アプライアンス単位で設定・管理が可能。 |
| ダッシュボード | 運用に合わせて表示ウィジェットをカスタマイズ可能。 |
| IoTデバイス検出 | ネットワーク構成及び30種類以上のIoTデバイスが認識可能。 |
| ログ分析 / レポート | 利用頻度の高いログクエリ条件を保存、定期的なレポート出力が可能。 |




設置方法

ブリッジモード

ネットワークに透過的に設置する事で既存の構成を変えずに導入ができる方法。トラフィックの精査に加えてドロップ等の制御が可能です。



ハードウェア仕様

| 仕様項目 | | Cloud Edge SB G3 ※3 | Cloud Edge 50 G3 | Cloud Edge 100 G2 |
|---------|----------------------------|---|--|---|
| 筐体 | |  |  |  |
| スループット | Firewall | 2,541 Mbps | 4,000 Mbps | 4,987 Mbps |
| | Firewall + ウイルス対策 ※1 | 273 Mbps | 452 Mbps | 640 Mbps |
| | Firewall + IPS ※1 | 302 Mbps | 497 Mbps | 689 Mbps |
| | Firewall + ウイルス対策 + IPS ※1 | 273 Mbps | 451 Mbps | 624 Mbps |
| | HTTPs(ウイルス対策 + IPS) ※1 | 70 Mbps | 118 Mbps | 244 Mbps |
| インタフェース | WANインタフェース(WANポート) | 1 | 1 | 1 |
| | LANインタフェース(LANポート) | 3 | 3 | 8 |
| | 管理インタフェース(管理ポート) | 1 | 1 | 1 |
| サイズ | 外形寸法 | 幅 230 × 奥行 170 × 高さ 43 mm | 幅 230 × 奥行 170 × 高さ 43 mm | 幅 230 × 奥行 270 × 高さ 43 mm |
| | 重量 | 1.1 kg | 1.1 kg | 3.0 kg |
| 電源仕様 | 冷却ファン | ファンレス仕様 | ファンレス仕様 | ファンレス仕様 |
| | AC電源 | 100-240V, 50/60Hz | 100-240V, 50/60Hz | 100-240V, 50/60Hz |
| | 消費電力 | 36W | 36W | 36W |
| 動作環境 | 動作温度 | 0°C ~ 40°C | 0°C ~ 40°C | 0°C ~ 40°C |
| | 保管温度 | -40°C ~ 70°C | -40°C ~ 70°C | -40°C ~ 70°C |
| | 湿度 ※2 | 5 ~ 90% | 5 ~ 90% | 5 ~ 90% |
| | 同時接続推奨台数 | 20台 | 50台 | 100台 |

※1 Persistent Connection ※2 非動作時かつ結露しないこと ※3 ブリッジモードでのサポートになります。

価格一覧

| メニュー名 | 月額サービス費用 | 備考 |
|--|----------|---------|
| Cloud Edge あんしんプラス 100 G2 ハードウェアパック | ¥ 13,300 | 契約期間 5年 |
| Cloud Edge あんしんプラス 100 G2 sandbox付 ハードウェアパック | ¥ 14,380 | |
| Cloud Edge あんしんプラス 50 G3 ハードウェアパック | ¥ 9,350 | |
| Cloud Edge あんしんプラス 50 G3 sandbox付 ハードウェアパック | ¥ 10,430 | |
| Cloud Edge あんしんプラス SB G3 ハードウェアパック | ¥ 5,850 | |
| Cloud Edge あんしんプラス SB G3 sandbox付 ハードウェアパック | ¥ 6,930 | |

※ Cloud Edge ハードウェア筐体の買取モデルもございます。 ※ 導入に関わる設置・設定費用が別途必要となります。

※ Cloud Edge ハードウェア筐体配下のインターネットへの同時接続推奨デバイス台数は

● Cloud Edge あんしんプラス 100 G2: 100台 ● Cloud Edge あんしんプラス 50 G3: 50台 ● Cloud Edge あんしんプラス SB G3: 20台までの利用を想定しております。

※ 価格は予告なく変更される場合があります。

※ TRENDMICRO、ウイルスバスター ビジネスセキュリティ サービスおよびCloud Edgeは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。 ※ 各社の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。 ※ このリーフレットの内容は改良のために予告無しに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。

お問い合わせ

レイメイ藤井グループ

株式会社 勁草システック

2023年12月現在